

グリーンボンド年度レポート

対象期間: 2024 年 8 月 ~ 2025 年 7 月

2025 年 8 月 29 日

株式会社カンポ

京都市伏見区羽東師古川町 233 番地

1. 調達資金の充当

1-1. 資金充当対象のプロジェクト

本社債による調達資金は、以下のプロジェクトが対象となります。

プロジェクト	名称	事業区分
1	「エナジーカンポ 2」への高効率 RPF 製造設備の新設	・省エネルギーに関する事業 ・汚染の防止と管理に関する事業

1-2. プロジェクト概要

プロジェクトの概要は、以下の通りです。

【プロジェクト 1】「エナジーカンポ 2」への高効率 RPF 製造設備の新設

事業主体	株式会社カンポ
事業実施場所	京都市伏見区羽束師古川町 403 番の 1
事業進捗状況	2020 年 11 月 30 日完工
事業概要	高効率設備の導入により RPF 製造に要する電力量を減少させることで、省エネルギーおよび CO2 排出量の削減を企図する。また、RPF 製造量を増加することで、廃プラスチック等の適正処理を推進し、汚染の防止と管理に資することを企図する。

1-3. 資金充当の状況

プロジェクトのプロジェクト総額、本社債による調達資金からの充当金額および時期は、以下の通りです。

プロジェクト総額	本社債による調達資金からの充当金額および時期	
540 百万円	新規 ※リファイナンスは該当なし	0 百万円 (2021 年度)

調達資金については、グリーンボンドフレームワークに則り、適切に管理しています。

なお、本社債による調達資金 100 百万円については 2020 年度に全額充当されており、未充当資金はありません。

2. 環境改善効果

プロジェクトによる環境改善効果および実績値は、以下の通りです。なお、環境改善効果は、グリーンボンドフレームワークに記載した算定方法に則り算定しています。対象期間は、2024 年 8 月～2025 年 7 月となります。

プロジェクト	環境改善効果	実績値
1	設備効率化による CO2 排出量の削減 効率性の高い RPF 製造設備導入によって、製造に必要な単位当たり電力使用量を、従前の製造設備に比して減少させる。	43.3t-CO2/年

算定方法の詳細

プロジェクト 1. 設備効率化による CO2 排出量削減	
算定式	$[\text{CO2 排出量の削減量(t-CO2)}] = [\text{更新前設備による CO2 排出量(t-CO2)}] - [\text{新設備による CO2 排出量(t-CO2)}]$ $[\text{更新前設備による CO2 排出量(t-CO2)}] = (\text{更新前設備 CO2 原単位(t-CO2/t)} \times \text{更新後 RPF 生産量(t)})$ $\text{更新前設備 CO2 原単位(t-CO2/t)} = (\text{更新前年間使用電力量(kWh)} \times \text{電力排出係数(kg-CO2/kWh※)} \div 1,000) \div \text{更新前年間 RPF 生産量(t)}$ $[\text{新設備による CO2 排出量(t-CO2)}] = \text{更新後使用電力量(kWh)} \times \text{電力排出係数(kg-CO2/kWh※)} \div 1,000$
備考	※「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－R5 度実績－」R7.3.18(環境省・経済産業省)より、関西電力㈱の調整後排出係数(メニューJ残差))(0.419 kg-CO2/kWh)の値を採用

3. レポーティング体制

本レポートは、グリーンボンドフレームワークに記載したレポーティング方針に則り、株式会社カンポホールディングス管理部を主管として作成されました。また、環境改善効果の算定に当たっては、独立した第三者機関からの助言を受けております。また、本レポートとグリーンボンド原則等の要件との適合性に関するレビューを、独立した第三者機関である株式会社格付投資情報センターより取得しております。